

三条市租税教育推進協議会長賞

税金と向き合う

三条市立本成寺中学校 三年 大滝 陸斗

おおたき りくと

僕はある日、お母さんにゴミ捨てを頼まれて、ゴミを捨てたあとにふとこんなことが僕の頭に思い浮かびました。「ゴミを処理するためにお金がかかることは知っているけど、処理するための費用はどのくらいで、それはどんな風に払われているのだろう」そこで僕は、ゴミの処理にかかる費用が気になって、そのことについて自分なりに調べてみることにしました。

調べてみると、年間のごみの総排出量は、四千六百六十七万トン、東京ドーム約百十二杯分で、一人一日当たりのごみの排出量は、約九百グラムということがわかりました。

近年は、ごみの総排出量が急増しているみたいです。そして、この量のごみを処理するための費用は、年間でなんと約二兆二千五百六十億円。一人当たりで見ると、約一万八千円、つまり一年間で一人一万八千円を負担することによって日本のごみ処理をまかなっているということです。更に調べると、この費用は税金で支払われていることもわかりました。

ごみの処理にかかる費用が税金で払われているなんて驚きました。でも、よく考えてみれば誰でも普通に生活をしていればゴミが出るのは当たり前なので、すべての人がそのごみの処理のためのお金を平等に税金として払うのは妥当だなと思います。

税金は他にも病院で治療を受けたりするときや、学校などで教育を受けることなどといった人々に安全や学びなどをもたらすためにも使われています。僕はこの事を知って、改めて税金の大切さを深く実感しました。

僕は、税金に対して、「納めなければいけないもの」という少し強制的な印象を持っていましたが、「国民が生活をしていくうえで必要不可欠なもの」という前向きな印象に変化しました。もちろん、税金に対する印象が変化する前から税金は大切という気持ちは少しはありましたが、先ほど話したように、学校で教育を受けたり、病院で治療を受けたりするときにも税金が使われていることを知ったのが税金に対する印象が前向きに変化した一つの理由だと思います。

ところで、最近は様々な社会問題がありますが、僕はこの経験を通して、人々が税金の重要性や様々な使われ方をもっと知って税金により良い印象を持てば、現在の社会が抱えている社会問題の解決に貢献できて、今よりもっと良い社会を実現できると僕は思いました。僕も将来、しっかりと納税をして、社会問題の解決や、今後の社会の発展に少しでも貢献できるような大人になるために、今から税に関する知識を十分に身に付けていきたいと思いました。